

## ○説明を要する議案（重要な議案）についての賛否判断

### 1. 利益相反のおそれがある議案

利益相反のおそれのある銘柄については、原則議決権行使の基本方針に基づいて議決権行使を判断しておりますが、当基本方針にて判断することが困難である議案については、議決権行使助言会社からの当社の議決権行使の基本方針に基づく助言に従い行使することで、判断を歪めることなく一貫した対応を行っております。

### 2. その他の銘柄

#### ①6406：フジテック（株主総会開催日：2022年6月23日）

フジテックについては、取締役10名選任の議案が会社から提案されました。本議案は、主要株主から会社と創業家との間で行われた複数の取引について、ガバナンス上の問題があるとして、本議案に反対するようキャンペーンを行っていました。会社側は、当該主要株主の指摘に対して、一定の対応を行っており、適法性の観点から問題がないものと説明していました。

主要株主が指摘する問題点については、株主価値向上の観点から会社側の説明は不足していると考えられるものの、会社側に具体的な損害を与えた事実は確認されておらず、株主価値の毀損までには至っていないと考え、会社提案の全ての取締役候補に対し賛成としました。

#### ②6502：東芝（株主総会開催日：2022年6月28日）

東芝については、取締役13名選任の議案が会社から提案されました。本議案については、新任候補者のうち2名が同社に投資する投資ファンド出身者であることを、現職の社外取締役が構成面でバランスを欠くとして反対意見を表明しました。

取締役候補の選定については、同社が指名委員会で候補者を指名のうえ、取締役会で承認しており、プロセス上問題が認められないと考えました。また、利益相反の観点から、当該2名の所属会社との間で利益相反や秘密保持等にかかる合意書が締結されており、問題がないものと考えました。当社の基本方針に照らしても、取締役会の構成としては形式要件を満たしており、ファンド出身者であるという点が反対する事由とはならないため、会社提案の全ての取締役候補に対し賛成としました。

#### ③6706 電気興業(株主総会開催日：2022年6月29日)

電気興業については、監査役1名の解任が株主から提案されました。株主提案者は、前代表取締役による不祥事を指摘したうえで、不祥事に関する監査役会の調査が不足しているとして、当該監査役が責務を果たしていない点を問題視するものでした。

当社の基本方針では、監査役を選任について、株主の利益に反する行為に責任があると判断される場合に、反対を検討することとしています。前代表取締役および取締役会の不祥事について株主価値の毀損や法令違反とは言い切れない点、また不祥事にかかる監査役会の調査不足をもって、監査役を解任する理由とはならないと判断し、本議案に反対としました。

#### ④8058 三菱商事(株主総会開催日：2022年6月24日)

三菱商事については、パリ協定の目標に沿った事業計画等の開示を求める定款変更議案、および2050年温室効果ガス排出実質ゼロ目標と整合性評価の開示を求める定款変更議案、の2議案が株主から提案されました。

環境関連の取組み積極化については非常に重要であるものとは認識しており、取組みの方向性や進捗状況などが公開情報により確認できることは、中長期的な株主価値向上に資するものと考えております。また同社はTCFDに賛同しているため、本議案で求める内容を開示することは、事業活動や範囲を制約するものではなく、実行に伴う追加コストも限定的であると考えられることから、賛成としました。

以上